

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和8年3月6日
札幌市立石山中学校

1 本年度の重点目標 『豊かな人間性を培う』 ・学ぶ力の育成・豊かな心の育成・健やかな身体の育成・信頼される学校の創造

2 本年度の教育推進の重点

- | | | |
|------------------------------|----------------------------|-------------|
| 1. 基礎学力向上に向けて | 3. 健やかな体の育成 | 4. 子どもの発達支援 |
| 2. 豊かな心の育成(道徳を中心に豊かな心を育むために) | 5. 信頼される学校の創造(開かれた学校をめざして) | |

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
重点目標	基礎学力向上にむけて	A	基礎・基本の確実な定着に向けた授業の工夫・改善と学習習慣の確立をめざす。「わかる」「できる」「楽しい」授業の構築と研修の充実をはかる。対話的に学び、協働で課題を解決するための協調性や意見交換能力を高める。	A	A
	豊かな心の育成	A	道徳授業時数の確保・授業記録と評価方法・教科書の活用など研修継続と理解に基づき、工夫された授業づくりを行う。日常指導の中でも組織的に道徳性の育成に努める。1年生については外部講師による道徳教室を実施する。	A	A
	健やかな体の育成	A	保健体育の授業のみならず、体育的行事の実施や部活動、食指導を通して、心身の健康を保持増進しようとする生徒の育成をはかる。自他の衛生環境に注意する姿勢を育てる。「シャポテン」の活用による心身の健康状態把握に努める。	A	A
	子どもの発達支援	A	校内学びの支援委員会を中心に、組織的支援活動を継続するとともに、日ごろからの情報共有に基づく、迅速な組織的対応に心がける。個別指導の必要性や支援の具体策などについて、日常的な交流に努める。	A	A
	信頼される学校の創造	A	学校・学年だより、HPや「すぐる」による積極的な情報発信の質的向上を図る。また、感染症対策からの教訓から、今後も情報発信手段や学習サポートなどの工夫・改善をはかる。	A	A
学校関係者評価委員による意見		校長室の壁に「石山の良いところ」について記された紙が貼られていた。訊くと6月に生徒会役員と校長先生による公聴会を行ったとのこと。このような話し合いを積み重ねることこそが重要目標に直接つながるものだと感じました。今後とも生徒の代表である生徒会の役員と対話を重ね意見を聞く努力をお願いいたします。			
学習指導	基礎基本の定着を図るための指導方法の工夫	A	生徒が主体的に取り組める授業になるよう、教科研修と指導方法の工夫をはかる。また、各学年の日常的な取組により、基礎基本の定着と望ましい学習習慣の確立をはかる。必要に応じて、個別指導や個別サポートを行う。	A	A
	学習習慣の確立に努める	B	生徒が学習に意欲的に取り組めるよう、日常の課題や長期休業期間の課題の工夫に努め、学習習慣の確立を図る。自分で学習の見通しをもち、主体的に学べる授業の構築を図る。日常的な反復練習ができるような取り組みを行う。	A	A
	補充学習などを通じた、学習支援体制の確立	B	これまで行ってきた学習支援の在り方や効果を検証し、より効果的かつ継続的な支援体制の工夫を図る。また、インクルーシブ教育の充実にも力を入れ、多様な学びの場を整備する。日常的な反復練習ができるような取り組みを行う。	A	A
	TT授業、少人数指導のさらなる充実による基礎学力の定着	A	個に応じた指導方法の改善を図り、学力向上と基礎基本の定着を目指す。また、学びのサポーターなどの人材も活用や個別指導などにより、きめ細やかな指導を継続したい。保護者アンケートでも評価が高いので継続する。	A	A
学校関係者評価委員による意見		学力に関しては、なかなか目標達成は難しいことではありますが、生徒アンケートを拝見すると先生方の授業に対する取組が高く評価されていることが判ります。故に、現今の指導内容の継続に期待いたします。			
生活指導	道徳の時間の充実	A	「特別の教科 道徳」の授業充実を図るため、「教科書」の効果的活用を図る。さらに、発達段階に応じて計画的に「考え、議論する道徳」の授業を行い、評価研修を継続する。	A	A
	朝の読書の通年実施	A	「朝の読書」の実施は、落ち着いた雰囲気の中で、豊かな心を育成し、スムーズな授業の導入に効果が大きかった。短時間ながらけじめをもって実施し、継続的にやっていく。また、図書室の利用喚起にも力を入れていきたい。	A	A
	学校外部の方を講師としてお招きしての授業や講演会の実施	A	総合的な学習の計画的な運用の中で、学校とは違った価値観や視点で教えていただく機会を設け、生徒の豊かな心の育成と生き方を学ぶ機会を設けていきたい。今年度も1年生の人権教室、2年生は総合的な学習での職業学習の出前講座、助産師を招いて性教育の講演会も行った。	A	A
	命を大切にしている指導の充実およびいじめ防止について	A	日常の学校生活の中で、命を大切にしている指導に心がけ、他に対する言動などへの意識向上を図る。いじめに関するアンケートの実施や教育相談の充実を図り、全職員による生徒観察と情報共有に努める。「しゃぼてん」の活用による相談活動の実施や未然防止の動きなど、定期的、組織的な連絡・指導体制の維持と改善に努めていく。	A	A
学校関係者評価委員による意見		令和8年に入り、SNS上における暴力行為等の動画の投稿、拡散があり、全国的にインターネットの書き込み等について注意の喚起がされております。何よりも生徒個人の道徳規範の涵養に心がけるようご指導願ひ申し上げます。			
その他	家庭との連携について	A	「すぐる」やHP、PTA懇談会などの機会に、学校や生徒の情報を発信することにより、家庭との連携を強化する。また、学校公開、個人懇談での交流や日頃の教育活動を通して信頼関係を高めることにより、相談しやすい環境をつくり、家庭との一層の連携を図る。	A	A
	学校・学年だより、PTA集会などが果たしている役割について	A	今後の状況などを判断しながら、本来の学校の様子や行事活動を見ていただけるよう、可能な限り学校公開日を設定する。また、PTA懇談会では丁寧な説明に努め、ご理解を得られるようにする。今後も学校からの発信ツールの利用と改善・機能拡大により学校での教育活動を積極的にアピールし、連携強化につながるしくみにしていきたい。	A	A
	生徒の積極的な行事参加について	A	反省に基づく学校行事の見直しや改善を図りながら、行事の改善や精選を行い、生徒の人的成長につながるよう実施する。今後も生徒が意欲をもって参加し、生徒個人や集団の向上が図られるよう指導していく。	A	A
	学校における体力向上の取組について	A	運動機会の確保や健康相談活動などを健康・体力の増進につなげられるよう努め、自他の衛生環境への意識向上に努める。食指導に関しては、栄養教諭による食に関する指導の充実をはかり、昼の放送での紹介や、毎日学級配付される給食ニュース、テレビ放送、ランチルーム給食など、食に意識の向く環境が整えられているが、今後も継続・改善していく。	A	A
学校関係者評価委員による意見		学校行事について創意工夫が見られ生徒も積極的に参加していることが分かります。さらには地域の活動にも協力されていることに感謝申し上げます。札幌市CS（コミュニティスクール）に参画する希望とのこと。地域の活力の一条になることに期待しております。			